

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1318715567					
病院名	独立行政法人国立病院機構 東京病院					
所在地	東京都清瀬市竹丘3-1-1					
管理者氏名	院長 松井 弘稔					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	422床	0床	0床	0床	50床	472床
承認年月日	平成28年2月16日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	イ 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	76.8 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	3,342 人
	②初診患者数	5,411 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	703 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	357 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	110.4 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	4,802 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	経営企画室長
登録医療機関数	253 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	253 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	8 件
共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	48 件
共同利用病床数	4 床
共同利用病床利用率	- %
共同利用可能な医療機器	CT、MRI、血管連続撮影装置、X線TV撮影装置、放射線治療装置（位置決有）、ガンマカメラ
共同利用可能な施設等	大会議室（収容人員約200名）（プロジェクター・放送設備等を含む）

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	1,381 (563)
救急搬送以外の救急患者数	912 (373)
合計 (うち初診患者数)	2,293 (936)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	手術室4室、手術台4台 X線装置4台、心電計2台、輸血・輸液設備3台、除細動器1台、人工呼吸器1台、麻酔器1台、CT装置2台、超音波装置1台、MRI装置1台、血液検査装置1台
優先使用可能な病床数	2 床
専用病床数	0 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	4人	1人
うち専従数	0人	0人
看護師数 (准看護師含む)	3人	0人
うち専従数	0人	0人
薬剤師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	0人	0人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	教育研修委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	18 人
研修施設	大会議室、研修室、会議室 (病棟)、図書室

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	26 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	25 回
研修会延べ参加人数	827 人
うち院外のための延べ参加人数	416 人
症例検討会の開催回数	1 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	0 回
研修の内容	RST研修公開講座、NST勉強会、北多摩北部地域高次脳機能障害者支援事業医療福祉従事者向け研修会、北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会市民交流事業、結核研修セミナーなど

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長
管理担当者	事務部長
診療に関する諸記録の管理方法	事務部（管理課、企画事務室）、電子カルテ及びカルテ庫において保管
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	共同利用の実績については、地域医療連携室、放射線科において保管 救急医療の実績については、事務部企画事務室において保管 地域医療従事者向け研修実績については、事務部管理課において保管 閲覧実績については、事務部（管理課、企画事務室）において保管 紹介患者に対する関係帳簿については、地域医療連携室において保管

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長	
閲覧担当者	専門職、庶務班長	
閲覧方法	診療に関する諸記録については、事務部企画事務室に申請 病院の管理運営に関する諸記録については、事務部管理課に申請	
前年度の総閲覧件数	278 件	
閲覧者別延べ件数	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	254 件
	その他	24 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	東京病院 院長
委員数	35 人
	うち院外 22 人
委員会の開催回数	4 回
委員会の概要	<p>1. 東京病院地域医療連携交流会・推進委員会（令和6年6月） 2. 東京病院地域医療連携推進委員会（令和6年9月） 3. 東京病院地域医療連携交流会（令和6年11月） 4. 東京病院地域医療連携推進委員会（令和7年3月）</p> <p>【内容】 ・地域医療連携推進委員会委員の一部交代について ・救急車受入状況 ・救急患者受入数（受診率） ・紹介受入状況 ・今後の東京病院地域医療連携推進委員会等の開催について</p>

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室
主たる相談対応者	看護師、ソーシャルワーカー、事務職員
相談件数	15,810 件
相談の概要	<p>1 受診・受療援助 ・受診の不安や難病等の受容について ・セカンドオピニオン 等</p> <p>2 入院援助、退院援助 ・レスパイト入院に関する相談 ・在宅生活の準備 ・施設、療養 病院などへの転院に関する相談 等</p> <p>3 経済的問題援助 ・医療費、生活費に関する相談</p> <p>4 社会復帰援助 ・復学、復職に関する相談 等</p> <p>5 療養上の心理的 ・社会的問題の解決、調整援助 ・家族関係の調整 ・心理、情緒 的問題援助 等</p> <p>6 人権擁護 ・虐待、DVに関すること ・成年後見制度 等</p> <p>7 その他</p>

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	(公財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価項目 一般病棟23rdG:Ver2.0 (認定日: (初回) 2006年7月24日、(4回目) 2021年7月24日)

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<p>1. ホームページ (病院概要、受診方法、診療科案内、診療実績、トピックス等)</p> <p>2. 広報誌「東京病院ニュース」を年6回発行 (部門紹介、職員紹介、連携医紹介、イベント情報 等)</p>

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	<p>看護師6人、ソーシャルワーカー6人 退院支援・調整として入院中の患者が退院後も継続が必要な医療や看護を受けながら、どこでどのような生活を送るかを自己決定するための意思決定支援と、患者・家族の意向を踏まえ社会保障制度や社会資源につなぐなどのマネジメントや、外来通院中の患者が地域での必要な支援が受けられるよう在宅療養移行支援を実践している。</p> <p>又、院内外のシステム構築と地域医療連携を図り、入院・受療相談やレスパイト入院受け入れ、退院後の地域支援など地域包括ケアシステムの構築に向けた活動を実践している。</p>

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	北多摩北部脳卒中連携パス、北多摩西部脳卒中地域連携パスに参加し、急性期病院からのスムーズな受け入れを調整している。定期的には開催される会議、研修会に参加しパス件数の実績報告、情報交換を行っている。